

# 美幌町地域公共交通活性化協議会

平成20年6月4日設置



## 概要

美幌町は、北海道の東部のオホーツク圏に位置し、人口19,087人(令和2年3月末現在)、総面積438.41km<sup>2</sup>の恵まれた自然資源と交通結節点の立地条件に優れた地域特性に支えられ、農林畜産業・工業・商業のバランスのとれた町である。

町内には、高規格幹線道路美幌バイパスが開通し、国道4本が縦横断しているため、北見市や網走市は通勤や通学圏にあり、女満別空港までは車で10分の距離にある。平成20年度に策定された「美幌町地域公共交通総合連携計画」に基づき、平成24年から乗合バスや乗合タクシーの運行を行っているが、バス利用の低迷や少子高齢化、人口減少の進行等により、地域公共交通を取り巻く環境も8年を経過し厳しくなっている。

### ○地域公共交通の現況

- ・JR石北本線(美幌駅)
- ・阿寒バス(株)(町内2路線)
- ・北海道北見バス(株)(町内1路線、地域間幹線2系統、郊外1路線)
- ・美幌北海道交通ハイヤー(株)(乗合タクシー町内6方面)
- ・混乗スクールバス(8路線)

### ○調査の主な内容

- ・本町の公共交通に対する町民の意識調査
- ・まちづくりミーティングによる意識調査
- ・協議会の開催
- ・美幌町地域公共交通計画(案)の取りまとめ

### ○地域公共交通の課題

- ・少子高齢化、人口減少に対応する公共交通網再構築の必要性
- ・利用者ニーズに合った町内バス路線の再編
- ・増加する町の移動支援、交通施策事業経費の適正化

### ○地域公共交通活性化協議会開催状況

- 11月19日 第2回協議会を開催
- ・主な協議事項  
地域公共交通計画策定に向けた調査内容の説明及び意見交換

令和3年3月下旬 第4回協議会開催(予定)

- ・主な協議事項  
公共交通アンケート調査結果報告、課題整理、素案策定

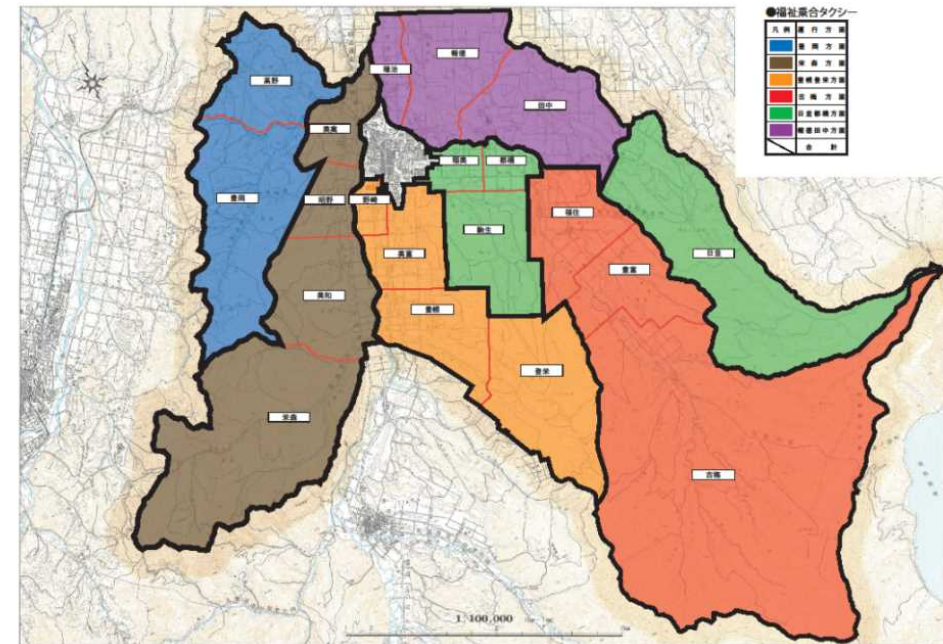
# 美幌町地域公共交通活性化協議会

## 公共交通の状況

美幌町市街地域 美幌循環線・美幌高校線



美幌町郊外地域 乗合タクシー(美幌町全図)



# 美幌町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要 1

- ・基礎的データの整理、現況調査等により、地域公共交通の客観的な状況を整理することができた。
- ・まちづくりミーティングにおける意見交換とあわせ、交通事業者等へのヒアリングを実施し、課題を整理した。

### [まちづくりミーティング]

市街地の40自治会を東西南北の4地区にグループ分けして設立した地区連絡協議会と地域公共交通計画をテーマに意見交換を実施。

11月16日、20日、24日、25日 4回開催 35自治会70名参加

自治会連合会北地区連絡協議会	11月16日開催	10自治会16名参加
自治会連合会西地区連絡協議会	11月20日開催	11自治会21名参加
自治会連合会南地区連絡協議会	11月24日開催	8自治会16名参加
自治会連合会東地区連絡協議会	11月25日開催	6自治会17名参加

### (意見交換等)

- ・バス車両の小型化の検討、バス車両に広告等の掲示しては
- ・日曜日にもバスを運行してほしい
- ・新バス路線は病院や大型スーパーを通るように見直しを
- ・現在の循環線は、17時以降に運行していないが、見直し後では何時まで想定しているのか
- ・免許返納者の増加に伴い、受け皿となる交通体系のあり方を
- ・バスの利用者に対する補助制度の検討

### [交通事業者とのヒアリング]

地域公共交通計画策定に向けた協力依頼、事務レベルでの意見交換を実施。

6月26日、8月13日、8月28日

### (意見交換等)

- ・バス運転手の不足など



# 美幌町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●事業の結果概要 2

・65歳以上の世帯及び高校生を対象としてアンケートを実施し、公共交通の利用実態、ニーズを把握することができた。

[65歳以上世帯アンケート調査]

12月12～27日 65歳以上世帯を対象とした約4,200世帯へアンケート調査を実施。 2,145世帯回答(回答率5割以上)

居住地では、市街地85.6% 農村地区12.2% 年齢構成は65歳以上の世帯が73% 1～2人世帯が76.9%

自動車運転免許保有者は66%、自家用車を保有している者は91.9%

主な交通手段は自家用車(自分・家族送迎)が約80%、徒歩が13%、公共交通が4%

主な目的施設は大型スーパー店(町内3店)が多く、病院施設が次に多い。

美幌循環線にあると便利と思うサービスは「バス車両の小型化」がもっとも多く、「JRとの接続ダイヤ」、「買物・飲食割引サービス」の順となる

[高校生アンケート調査]

12月2～28日北見市へ通学する高校生・美幌高校の生徒400名を対象にアンケート調査を実施。

北見通学の高校生 回収194件(6学校) 1年生35.6% 2年生31.4% 3年生33.0%

居住地では、市街地77.3% 農村地区20.1%

通学手段はJR96.9% 駅までの交通手段は自転車が49%(冬期13.4%) 家族等の送迎42.5%(冬期79.6%)

下校時の利用するJRのダイヤは18時～19時台が一番多い

美幌高校生 回収206件 1年生28.6% 2年生30.6% 3年生40.8%

居住地では、市街地61.7% 農村地区24.3% 町外13.6%(北見市、大空町、津別町、網走市)

通学手段は徒歩・自転車が50.3%(冬期 徒歩33.5%) 家族等の送迎38.3%(冬期48.5%)

下校時間帯は18時台が一番多く、16時台、17時台と続く。

町内運行バスへの意見としては、「利用したい時間帯の運行が無いため増便を希望」がもっとも多く、次に「バス停の増設要望」が多い

・調査結果を踏まえ当町に適した公共交通体系の方向性を示す公共交通計画素案を作成し、今後の協議会で成案化に向けて協議していく。

# 美幌町地域公共交通活性化協議会 計画策定に係る事業の取組状況

## ●地域公共交通計画等の計画策定に向けた方針

- ・地域公共交通計画策定と並行して、現在運行中の美幌循環線を含めた市街地運行バス路線について見直しを図る。
  - 交通不便地域を含めた路線の見直し
  - 大型スーパー、町内医療機関、小学校等を通る路線への見直し
  - JR普通列車との接続を踏まえた運行の見直し(17時台以降の時刻ダイヤの検討)
  - 行先が分かりやすいバス停名称の見直し(路線図を確認して自分の目的地がすぐ分かる名称に変更)
- 等を検討し、交通弱者及び高校生を対象としたバスの利用促進及び利便性の向上を図る。
- ・また、各調査結果や意見交換を踏まえて、スクールバスや郊外地区を運行するデマンド型乗合タクシー、女満別空港との連絡交通などを含めた、美幌町全般の実効性のある持続可能な公共交通計画の基本方針を策定する。

## ●事業実施の適切性

計画通り事業は適切に実施された。

## ●地方運輸局及び地方航空局における二次評価結果

- ・事業は、計画どおり適切に実施されているものとする。
- ・今後、公共交通事業の収支率や公的資金投入額などの事業効率の改善等についても検証していくことをご検討いただきたい